

1月 January

■冬の遊びin麻生球場

- ・平成30年1月12日(金)
- ・麻生球場

野球場の広いグラウンドを生かした冬の遊びを子どもたちに思い切り楽しんでもらおうと、麻生地区青少年育成委員会、麻生児童会館、麻生球場が主催したものです。当日は、地域の子どもたちなど約80人が参加し、そりりレーや、スノーモービルでゴムボートを引っ張るスノーラフティング、チューブ滑りなど冬ならではの遊びを楽しみました。



■篠路中生徒が除雪ボランティア

- ・平成30年1月23日(火)
- ・拓北地区

地域に密着したボランティア活動を通して地域住民との交流を図り、その意義や喜びを体験しようと、篠路中学校の生徒が、ひまわり連合自治会のメンバーとともに消火栓周りの除雪ボランティアを行いました。参加した同校の1・2年生有志生徒と同会のメンバー約80名は、グループに分かれて拓北地区の消火栓16基の除雪を行いました。



■第5回に～よん音楽祭

- ・平成30年1月28日(日)
- ・札幌サンプラザコンサートホール

北区内で活動している音楽家の演奏を通して地域の交流を図ろうと、スローライフ・イン・に～よん実行委員会が主催しました。来場者は、北24条周辺を拠点に活動しているアーティストによる様々なジャンルの楽曲の歌声や、区内の高等学校の吹奏楽部による迫力ある演奏などを楽しみました。



■スノーアイスクャンドル大作戦

- ・平成30年1月30日(火)
- ・屯田北児童会館

スノーアイスクャンドルづくりを通して、子どもたちと地域住民が連携し、集う機会をつくろうと、屯田北児童会館が主催しました。同会館を利用している子どもたちのほか、隣接する保育園の園児やキャンドルを置くための台を制作した近隣の高校の生徒も参加し、子どもたちが一斉にキャンドルに灯をともすと、会場からは大きな歓声が上がりました。



2月 February

■第30回北区スノーホッケー大会

- ・平成30年2月11日(日)
- ・麻生球場

スノーホッケーは札幌市で生まれた冬のスポーツで、1チーム7人が「レッツ」と呼ばれるミニスキーを履き、スティックを使ってボールを相手チームのゴールに入れ、シュートの点数を競います。同大会は北区スポーツ推進委員会と北区が主催するもので、区内の小学5・6年生、全18チームが参加し、男女・学年別のリーグ戦により優勝を競いました。



■第41回しのろスノーフェスティバル

- ・平成30年2月18日(日)
- ・篠路コミュニティセンター

寒さに負けない体力づくりや家族・友人との絆を深めることを目的として、篠路地区青少年育成委員会と篠路連合町内会が主催しました。制限時間内に雪像を作る「雪像コンテスト」では、参加者が様々な雪像を製作して出来栄を競い合ったほか、会場内には大きな滑り台とかまくらも作られ、子どもたちは歓声を上げながら雪遊びを楽しみました。



■あさぶおすそわけマーケット

- ・平成30年2月25日(日)
- ・麻生総合センター

子どもから高齢者までが、買い物や様々な体験を通じて交流することで、地域の活性化を図ろうと、麻生商店街振興組合が主催しました。麻生や周辺地域のパン屋、雑貨屋、手作り作品のお店など12店舗が出店し、各店には、品物の販売とは別に、会話や交流が生まれる仕掛けとして商品の試食や小物のプレゼントなどの「おすそわけ」が用意されました。



■新琴似歌舞伎公開講座

- ・平成30年2月28日(水)
- ・プラザ新琴似

開拓期に演じられていた農村歌舞伎の保存伝承に取り組んでいる新琴似歌舞伎伝承会が、新琴似中学校と連携して開催したものです。伝承会の会員から指導を受けた同校の2年生15人が演者や裏方として出演し、「白浪五人男しらなみごにんおとこ」から「稲生川勢揃いの場いなせがわせいぞろいのば」を披露しました。中学生の堂々とした迫力ある演技に、会場からは惜しみない拍手が送られました。

